

2023 年度事業報告

【キーパーソン 21 の活動目的】

キーパーソン 21 は、主に小中学生から大学生世代に対して、様々な社会人との交流の場を作り、自分の将来について考えるきっかけを持つことで、一人ひとりが視野を広げ、社会へ旅立つことの自覚と自立心を醸成していけるよう寄与することを団体の目的としています。また、すべての世代が、わくわくしながら主体的に社会参加することを支援し、一人ひとりを最大限に活かす社会を創造することを目指します。

【2023 年度活動方針】

1. 「わくわくエンジン[®]」のコモンズ化（共有化・公共化）を目指す。
2. 全国各地のわくわくイノベーターをはじめとする会員の想いを実現するために、コミュニケーションを強化する。

【2023 年度の重点施策】

1. 「わくわくナビゲーターたち」が「わくわくエンジン[®]」を自身の日常生活の中で活用できるように、出来事などをシェアし共鳴し合える「わくナビコミュニティ」をつくる。
2. 「わくわくエンジン[®]」が地域に浸透するよう、新しいチャレンジをしようとする会員や地域チームのメンバーの会議や交流の場を作る。

【2023 年度活動報告サマリ】

2023 年 3 月末までにプログラムを受けた子どもの数 63,677 人（累計）

重点施策に対する報告

■活動報告サマリ

キーパーソン21の会員の活動の活発化を図った。会員との交流や活動の機会を創出するべく、アイデアを募って実行した。

■実績

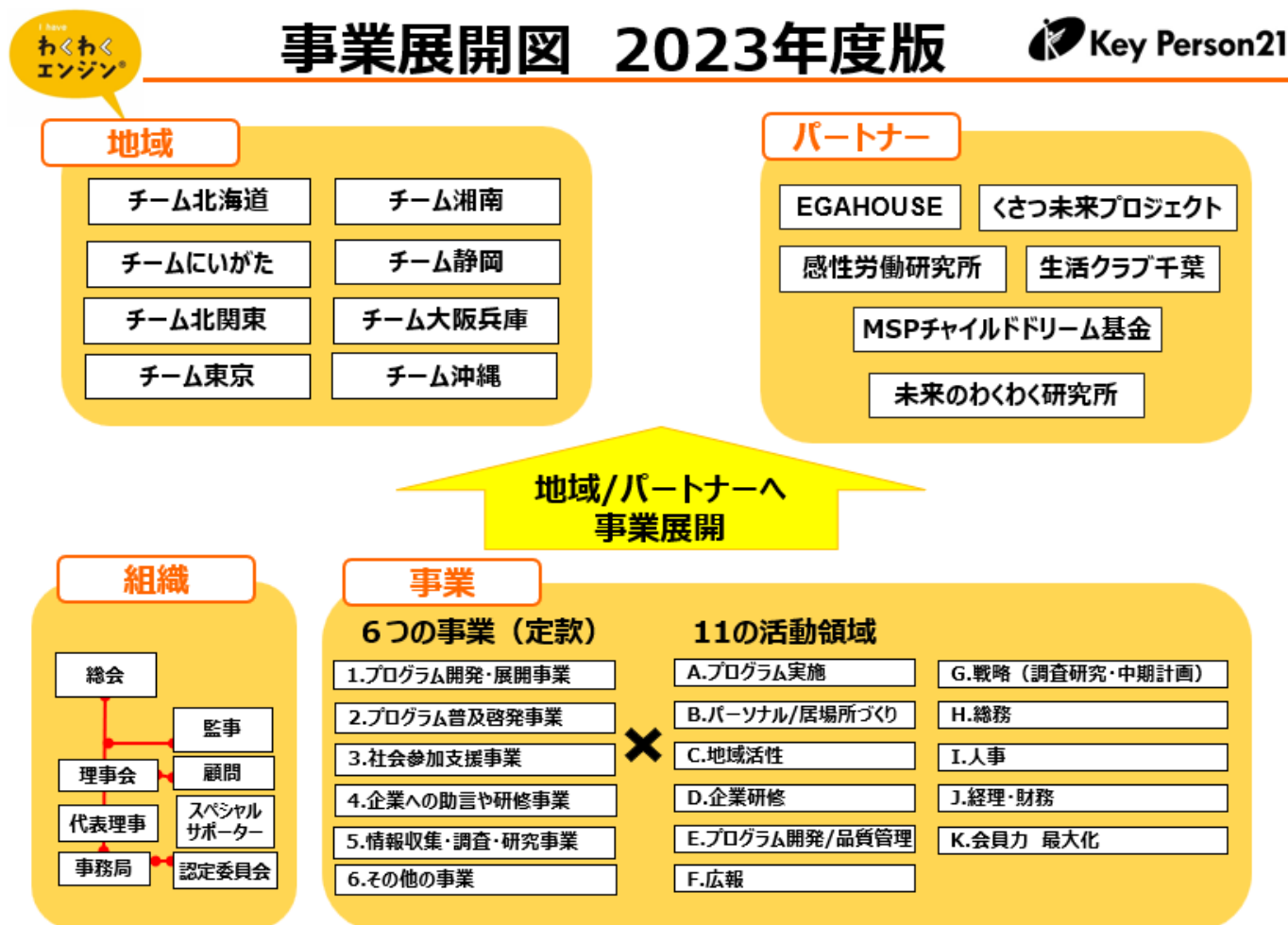
これまでの会員活動として行ってきた、わくナビ活動、チーム活動、「キーパーソン21の日！」の開催（会員への報告の場、学びの場）、説明会でのエバンジェリストの育成などに加え、以下のことを行った。

- ・アイデア会議の発足と運営（会員からのアイデアを聞き取り、実現させていくグループがうまれた）
- ・「キーパーソン21の日！」における新入会員の紹介
- ・全国交流会第一回を神戸で開催
- ・会員募集の説明会で会員活動のイメージを伝えるための準備（キーパーソン21との関わり方の多様な選択肢を明確化）
- ・会員コミュニケーション活性のための場づくりの準備を開始（ツールとしてdiscordの使用を決定した）

■効果

- ・様々なアイデアが生まれる土壌ができて、チーム活動以外の場でも会員活動が出来るという認識が高まった。
- ・家族ぐるみで参加できる全国の会員交流の場を創出した。会員家族の子どもたちの「やってみたいをやってみる」プロジェクトが生まれ、大人たちが応援するスタイルが促進された。
- ・会員メーリングリストの一方通行のコミュニケーションではなく、会員が双方向に交流できるインターネット上の場づくりの準備が進んだ。
- ・新人会員やまだ他会員とのつながりを持っていない会員が、どのように活動したらいいかわからないという問題の解消に向けて取り組みを進めた。

【事業展開図】



事業報告 目次

【事業部門】

(1) 特定非営利活動に係る事業

① キャリアプログラムの開発、展開事業

1) プログラム開発事業 <事業展開図 E プログラム開発/品質管理>

2) プログラム展開事業

ア. プログラム実施 <事業展開図 A プログラム実施> <事業展開図 B パーソナル/居場所づくり>

イ. オンライン実施 <事業展開図 B パーソナル/居場所づくり>

首都圏/川崎/地域チーム/居場所/パーソナル/オンライン

② キャリアプログラムの普及啓発事業

1) わくわくナビゲーター養成講座および講師育成 <事業展開図 E プログラム開発/品質管理>

2) 全国への普及

3) 広報、コミュニケーション活動 <事業展開図 F 広報>

③ 社会参加支援事業

1) 川崎市学習支援・居場所づくり事業（なかわく/こすわく） <事業展開図 B パーソナル/居場所づくり>

ア. 川崎市委託事業「学習支援・居場所づくり事業」

イ. 自主運営事業「学習支援・居場所づくり事業」

2) 川崎市寺子屋事業 <事業展開図 B パーソナル/居場所づくり>

④ 人材育成を目的とした、企業、団体等への助言、研修事業 <事業展開図 D 企業研修>

⑤ 教育に係わる情報収集、調査研究及び発信事業 <事業展開図 F 広報> <事業展開図 G 戦略>

⑥ その他目的達成のために必要な事業

1) 会員力最大化 <事業展開図 > <事業展開図 K 会員力最大化>

(2) その他の事業

① 寄贈品、グッズなどの物品販売

② 著作、出版物の制作・販売

③ 会員のサークル活動支援事業

【管理部門】

1) 財政基盤を構築する <事業展開図 J 経理・財務>

2) 組織改革・基盤強化 <事業展開図 H 総務 I 人事>

3) 戦略を立案する <事業展開図 G 戦略>

【事業部門】

（１） 特定非営利活動に係る事業

① キャリアプログラムの開発、展開事業

- ◆内容：キャリア開発プログラムの開発および展開事業
- ◆日時：「2024 年度事業実施実績一覧表」P.9-12 参照
- ◆場所： 同上
- ◆従業者人数（プログラムに関わった人数）：のべ 1,112 名
 会員：714 名（個人会員：582 名、パートナー会員：132 名）、
 非会員：398 名（協賛企業社員：185 名、地域サポーター：140 名、
 先生・教育委員会：45 名、見学・取材・その他：28 名）
- ◆対象者：3,964 名（子ども：3,867 名、大人：97 名）
- ◆収益金額：¥13,419,506 費用金額：¥9,894,685

1) プログラム開発事業 <事業展開図 E プログラム開発/品質管理>

■23 年度のテーマ

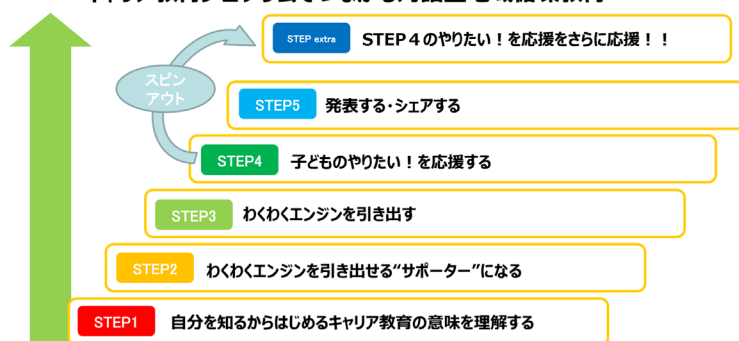
わくわくエンジン®発見から生まれた「やってみたい」を本気で応援する

■23 年度の目標

「やってみたい」を本気で応援するプログラム構成を目指す

STEP1～5 と STEP EXTRA

キャリア教育プログラムでつながる対話型地域循環教育



■実績

1. 一歩踏み出すための応援実績

- 対象：・川崎市立宮内中学校2年生（応援企業：富士通株式会社）
 ・川崎市立中原中学校2年生（応援企業：サントリーホールディングス株式会社）
 ・会員（親対象の「わくわくエンジン®活用倶楽部」）

■効果/考察

- ・「わくわくエンジン®」発見から始まった、子どもたちの「やってみたい」を地元企業や地域の大人たちが応援する地域の対話型循環モデルができた。これにより、子どもたちは、やってみたいことの行動に一步踏み出した。
- ・子どもが主体的になるような声掛けや関わり方のノウハウが整理された。
- ・子どもたちへの関わり方のポイントを動画にまとめ、関わる大人に提供することで、大人たちが日常に使うスキルの向上につながった。
- ・親も「わくわくエンジン®」を発見後、一步踏み出して行動することで、多くの気づきを得て変化変容した。

2) プログラム展開事業

■ 23 年度のテーマ

わくわくエンジン®発見！から生まれた「やってみたい」を応援する実践事例づくり

■ 23 年度の目標

- ① 「やってみたい！」を引き出したら実行を応援しよう！STEP1-5 と EXTRA の実践事例づくり
- ② ジュニアわくナビの育成モデルづくりの継続。ジュニアわくナビのやってみたいを応援する
- ③ わくわくエンジン®を発見から始まる「進路サポートプログラム」の実践/学校+地域の居場所
- ④ 先生がキーパーソン！先生のわくわくエンジン®理解促進/教員研修
- ⑤ キャリアパスポートやコミュニケーション力向上研修/教員研修
- ⑥ 企業の子ども応援プロジェクト：意味付けの強化「コミュニティ・スクール」

ア. プログラム実施 <事業展開図 A プログラム実施>

学校や地域において、子どもたちの主体的な活動に繋がるよう取り組む。

【首都圏におけるモデル】

■ 実績

1. 有明わくわくプロジェクト

- ・地域学校協働本部との連携 7 年目
- ・保護者、地域学校協働本部、学校、キーパーソン21との安定感のある関係性で推進
- ・教員が、プログラムを総合学習の授業に効果的に接続し活用

2. 私立かえつ有明中学校

- ・保護者サポーターが探究プロジェクトの発表会にも参加することで、保護者と学校の関係性構築に寄与

3. 渋谷区立渋谷本町学園小学校6年生、渋谷区立広尾中学校1・2年生

(応援企業：カシオ計算機株式会社)

- ・渋谷区教育委員会主導で行われている地域×探究学習「シブヤ未来科」の一環として、探究テーマを決定する前の自己理解の機会として活用

4. ジュニアわくナビプロジェクト

(応援企業：日本ロレアル株式会社)

- ・企業の次世代育成事業「ロレアルfor Youth」にて活用
- ・社員が触発され仕事への原点回帰の機会となった

5. 栃木県立那須拓陽高校農業経営科2年生

(応援企業：JA全農)

- ・JA全農「酪農の夢」コンクール優秀賞受賞者の学校へのプレゼントとして実施
- ・第一次産業の次世代育成、進路選択サポートに活用

■効果/考察

- ・探究授業を計画するにあたり、教員が「自分を知ることから始まるプログラム」の意義に気づき、学校教育システムに導入し、事後の活用方法を教員自らが考え活かした。
- ・企業の次世代育成×社会貢献への意欲の高まりを感じる。企業人が子どもたちと直接交流できることが、企業の長期的なブランディングや進路選択の可能性開拓にも貢献できることがより認識されるようになった。

【川崎における対話型地域循環モデル】

■実績

1. 川崎市立新城小学校6年生
(応援企業：ジェクト株式会社)
2. 川崎市立久本小学校6年生
(応援企業：株式会社エヌアセット、株式会社シーエスデー、高津区の企業や地域の大人)
3. 川崎市立宮内中学校2年生
(応援企業：富士通株式会社)
4. 川崎市立川崎中学校1年生
(応援企業：JFEエンジニアリング株式会社)
5. 川崎市立中原中学校2年生
(応援企業：サントリーホールディングス株式会社)

■効果/考察

- ・川崎において319名の多様な大人たちが関わった。
- ・川崎市市内において学校を越えた企業同士の横のつながりができ、協力し合う形が生まれた。
- ・2022年度の久本小学校の受賞に続き、2023年度は、宮内中学校が「第16回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞した。
- ・プログラムを子どもたちにとってより良い形で提供できるよう、教員による様々な工夫が見られた。

【地域チーム活動実績】

■活動報告サマリ

各チームが、地域内で着実に実績を重ねており、関係各所の信頼と継続的な依頼に繋がっている。口コミや紹介等で新規依頼も増えている。より充実したプログラム実施のために、チームメンバーのみの実施ではなく、地域企業や関係団体の協力、連携、協働プロジェクト等の活動が積極的に進んでいる。

■実績

地域チーム	2023年度の取り組み
チーム北海道	・戦略及び計画を立て直し、新体制に向けて準備
チームにいがた	・「新潟市高等学校等教育コンソーシアム」のメンバーとして2年目 ・教職員研修を事務局と協働で実施し、教員の理解を促進 アンケート結果は満足度100% ・チームメンバーを増強すべく、年度内2回のわくわくナビゲーター養成講座を新潟で開催
チーム北関東	・自由学園プロジェクトの継続。学内サポーターも10名ほど増加 ・新規で県立高校において講演 ・募集型親子プログラムを実施
チーム東京	・日野市で2度目の親子プログラムを実施（市民グループとチーム東京の共催） ・寺子屋のような地域密着型の塾で実施
チーム湘南	・継続2年以上の学校実施が増加 ・チーム湘南初！市民サポーターを誕生させるプロジェクトを実施、6クラス実施に対応
チーム静岡	・継続2年以上の学校実施が増加 ・市民協働センターとの連携実施の継続 ・多プロジェクト、多クラスに対応できる体制を整えた
チーム大阪兵庫	・養成講座を神戸市で開催。メイン（進行役）までできるメンバーが増加 ・地域チーム初！地元企業を巻き込んだ「企業の子ども応援プロジェクト」を大津市立小学校で実施 ・NPO×企業/PTA/地域市民の協働プロジェクトを数多く実施 ・PTA向け講演にチームとして登壇（子どもと大人の変化変容事例を中心とした内容）
チーム沖縄	・生きづらさをかかえた子どもたちの居場所でのプログラム実施 職員向け事前オリエンテーションによる理解促進

■効果/考察

- ・協働プロジェクトを行うという意識が高まり、依頼者のニーズに合わせ、より効果的に地域教育システムへの導入提案をするようになった。
- ・「企業の子ども応援プロジェクト」や「地域サポーター」を育成するモデルを、各地域チームにおいても実践
- ・学校だけでなく、多様な地域施設からの依頼が増えた。
- ・学校外の第3の居場所での実施については、中長期に子どもたちの変化に関わることができる現場となった
- ・チームにおける様々な事例のシェア会を行ったことで、チーム間の学び合いの機会となった。
- ・特に地域企業や地域市民、学内関係者など地域人材を地域サポーターとして巻き込むことが、持続可能な地域での展開の鍵となると思われる。

【居場所における実施】

■実績

1. たまりばわくわくプロジェクト

（応援企業：東急株式会社「東急子ども応援プログラム」）

「認定 NPO 法人フリースペースたまりば」と連携し、3つの居場所を実施

- ①「フリースペース えん」（小学生対象：学校の中に居場所を見いだせない子どもや若者たち）
- ②「コミュニティスペース えんくる」（中高生対象：カフェ、食堂、フードパントリー）
- ③「川崎若者就労・生活自立支援センター ブリュッケ」（成人対象：ひきこもり、自立支援）

■効果/考察

- ・川崎市内で生きづらさを抱える子どもたちの支援を行うNPOと連携し、場や対象者によってプログラムをアレンジするなど柔軟に対応した。
- ・学校外の学びの場におけるファシリテーションに関して、汎用性を持たせるために、対応や判断の言語化の必要性を感じた

【パーソナルな実施】

■実績

solo-solo

- 1組の親子に実施（対象：大学進学に向けて、進路選択に悩む親子）

■効果/考察

- ・一人ひとりに合わせたよりパーソナルで柔軟性のある対応の重要性を再認識した。

イ. オンライン実施 <事業展開図 B パーソナル/居場所づくり>

■実績

1. 家族で発見！わくわくエンジン®「オンラインですきなものビンゴ」
 - ・通年常時開催 2 年目
 - ・「定期的に家族で受けたい」というリピーターが増えた
2. <会員向け>「わくわくエンジン®活用倶楽部」
 - ・親である 4 名の会員が参加

■効果/考察

- ・親自身がわくわくエンジン発見後に行動することで、親の気づきが生まれ子どもへの関りが変わった。
- ・「わくわくエンジン®」発見後に、いかに日常に活かしていったか、その変化変容の事例を積み重ねていき、人々へ勇気を与えるような発信の必要性を感じた。

【2024 年度事業実施実績一覧表】

区分	都道府県	対象団体名	対象	学年	児童・生徒数	大人受講者数	開催日時	プログラム名	関わった大人の数	協力/協賛/パートナー
事務局	福岡	福岡県福岡市フチガミ医療福祉専門学校	専門学校	-	68	7	4/16	すきなものビンゴ	2	
事務局	神奈川	進路サポートプログラム solo-solo	親子	-	1	1	7/8	進路サポートプログラム solo-solo①	1	
							11/19	進路サポートプログラム solo-solo②	1	
事務局	東京	私立かえつ有明中学校	中学校	3	198	0	7/15	すきなものビンゴ&お仕事マップ	46	
事務局	神奈川	なかわく進路サポートプログラム	-	-	8	0	8/8	すきなものビンゴ&お仕事マップ	4	
							8/9	すきなものビンゴ&お仕事マップ	5	
事務局	東京	こども家庭庁プロジェクト	-	-	-	4	8/25	すきなものビンゴ&お仕事マップ	10	
事務局	神奈川	川崎市立宮内中学校	中学校	2	222	0	9/5	先生版おもしろい仕事人がやってくる！	16	富士通株式会社
							10/17	すきなものビンゴ&お仕事マップ	34	富士通株式会社
							10/24	すきなものビンゴ&お仕事マップ	31	富士通株式会社
							10/31	わくわくエンジンを深掘りする会	15	富士通株式会社
							11/7	おもしろい仕事人がやってくる（富士通バージョン）	11	富士通株式会社
							11/21	わくわくエンジンからのやってみたい！対話会①	26	富士通株式会社
							12/5	わくわくエンジンからのやってみたい！対話会②	34	富士通株式会社
事務局	神奈川	フリースペースえん	-	-	20	0	9/28	すきなものビンゴ	11	東急子ども応援プログラム
							10/11	すきなものビンゴ	13	東急子ども応援プログラム
事務局	神奈川	川崎市立川崎中学校	中学校	1	121	0	9/22	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	21	JFE エンジニアリング株式会社
事務局	東京	渋谷区立渋谷本町学園	小学校	6	97	0	9/27	おもしろい仕事人がやってくる！&おもしろい仕事人新聞	9	カシオ計算機株式会社
事務局	神奈川	川崎市立久本小学校	小学校	6	130	0	10/3	おもしろい仕事人がやってくる！ すきなものビンゴ&お仕事マップ	25	株式会社エヌアセット、株式会社シーエスデー
							12/8	「働く人の思いを聞いてみよう」（おもしろい仕事人&インタビュー）①	10	株式会社エヌアセット、株式会社シーエスデー

							12/14	「働く人の思いを聞いてみよう」(おもしろい仕事人&インタビュー)②	10	株式会社エヌアセット、株式会社 CSD
事務局	東京	江東区立有明小学校	小学校	6	63	0	11/9	すきなものビンゴ&お仕事マップ	21	
事務局	東京	江東区立有明西学園	小学校	6	157	0	11/9	すきなものビンゴ&お仕事マップ	32	
事務局	東京	渋谷区立広尾中学校	中学校	2	65	0	11/15	すきなものビンゴ&やってみよう	20	カシオ計算機株式会社
事務局	神奈川	川崎若者就労・生活自立支援センター プリュッケ	-	-	13	0	11/29	事業者紹介	12	東急子ども応援プログラム
							12/7	すきなものビンゴ&お話し会	11	東急子ども応援プログラム
							12/19	すきなものビンゴ&お話し会	11	東急子ども応援プログラム
事務局	神奈川	川崎市立新城小学校	小学校	6	130	0	11/30	すきなものビンゴ&お仕事マップ	28	ジェクト株式会社
事務局	東京	渋谷区立広尾中学校	中学校	1	35	0	12/4	すきなものビンゴ&お仕事マップ	14	カシオ計算機株式会社
事務局	東京	ジュニアわくナビプロジェクト	中・高	-	-	15	12/20	「おもしろい仕事人に会いに行こう!」「すきなものビンゴ」	21	日本ロレアル株式会社
事務局	神奈川	コミュニティスペースえんくる	-	-	3	1	1/26	すきなものビンゴ①	7	東急子ども応援プログラム
							2/9	わくわくエンジン深めるシェア会&やってみよう!とその理由を考えよう	5	東急子ども応援プログラム
事務局	神奈川	川崎市立中原中学校	中学校	2	162	0	2/29	おもしろい仕事人がやってくる!すきなものビンゴ&お仕事マップわくわくエンジンを語り合おうやってみよう!とその理由を考えよう	58	サントリーホールディングス株式会社
事務局	栃木	栃木県立那須拓陽高等学校	高校	2	35	0	3/14	おもしろい仕事人がやってくる!すきなものビンゴ&酪農お仕事マップ	16	JA 全農
地域	新潟	新潟日報カルチャースクール	-	-	3		7/30	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	4	
地域	新潟	新潟市立曽根小学校	小学校	6	30	0	8/30	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	4	
地域	新潟	新潟市立大形小学校	小学校	6	124	0	9/25	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	6	
							9/26	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	6	
地域	新潟	新潟市立阿賀小学校	小学校	6	42	0	10/10	すきなものビンゴ	4	
地域	新潟	新潟市立鏡淵小学校	小学校	6	39	0	11/10	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	7	
地域	新潟	新潟市立明鏡高校	高校	-	13	0	11/22	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	3	

							12/13	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	3	
地域	新潟	新潟市立木山小学校	小学校	5・6	22	0	12/11	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	7	
地域	埼玉	自由学園	大学	1	17	0	10/28	すきなものビンゴ&お仕事マップ	10	
地域	埼玉	親子実施 in レイボックホール	親子	-	9	7	12/23	わくわくエンジン発見！体験会	6	
地域	東京	親子実施 in 日野	親子	-	14	8	12/3	すきなものビンゴ&お仕事マップ	13	
地域	東京	デスクトップエデュケーション	小中	-	15	8	3/17	すきなものビンゴ「わくわくわくエンジン親子ワークショップ！」	8	
地域	神奈川	寒川町立南小学校	小学校	6	79	0	7/7	すきなものビンゴ	11	
地域	神奈川	横浜市立笹下中学校	中学校	1	215	0	1/18	すきなものビンゴ&お仕事マップ	38	
地域	神奈川	寒川町立寒川東中学校	中学校	1	134	4	1/31	すきなものビンゴ&お仕事マップ	27	
地域	神奈川	茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校	小学校	6	129	0	2/28	すきなものビンゴ	13	
地域	静岡	掛川市立第二小学校	小学校	6	70	0	5/2	すきなものビンゴ	13	
地域	静岡	菊川市市民協働センター	-	-	14	0	7/15	すきなものビンゴ+α	12	
地域	静岡	森町中高生ボランティア体験入門講座	中高	-	26	0	8/5	すきなものビンゴ&お仕事マップ	8	
地域	静岡	富士市立吉永第一小学校	小学校	6	68	0	10/5	すきなものビンゴ	12	
地域	静岡	富士市立元吉原小学校	小学校	6	56	0	12/14	すきなものビンゴ&お仕事マップ	13	
地域	静岡	掛川市立原田小学校	小学校	5・6	20	0	1/31	すきなものビンゴ&お仕事マップ	8	
地域	大阪	私立関西大倉中学校	中学校	1	193	0	4/13	すきなものビンゴ	33	
地域	滋賀	滋賀県大津市立富士見小学校	小学校	6	73	0	6/9	すきなものビンゴ&お仕事マップ	20	株式会社高栄ホーム
地域	兵庫	兵庫県立神戸生活創造センター	-	-	2	0	7/15	すきなものビンゴ&お仕事マップ	4	
地域	大阪	神戸市立長田南小学校	小学校	6	37	0	12/14	すきなものビンゴ&お仕事マップ	18	
地域	兵庫	神戸市立駒ヶ林小学校	小学校	6	72	0	2/26	すきなものビンゴ&お仕事マップ	25	
地域	兵庫	神戸市立長田中学校	中学校	1	114	0	2/20	すきなものビンゴ&お仕事マップ	22	
地域	沖縄	アソシア Job Camp	-	-	10	0	12/14	すきなものビンゴ	3	
パートナー	千葉	千葉県立生浜高校定時制(午前部・昼間部)	高校	1	128	0	1/17	すきなものビンゴ&わくわくエンジン発見	12	生活クラブ千葉
パートナー	滋賀	草津市立草津小学校	小学校		65	0	10/23	すきなものビンゴ	10	くさつ未来プロジェクト
パートナー	滋賀	草津市立草津小学校	小学校		32	0	10/24	すきなものビンゴ	7	くさつ未来プロジェクト

パートナ ー	滋賀	大津市立小野小学校	小学 校		14	0	7/18	すきなものビンゴ 1.2 わ くわくする言葉	7	くさつ未来プロジェクト
パートナ ー	滋賀	大津市立真野小学校	小学 校		90	0	3/5	すきなものビンゴ	10	くさつ未来プロジェクト
パートナ ー	滋賀	大津市立和邇小学校	小学 校		72	0	11/22	すきなものビンゴ	6	くさつ未来プロジェクト
パートナ ー	滋賀	東近江市立玉緒小学 校	小学 校		40	0	9/5	すきなものビンゴ	8	くさつ未来プロジェクト
パートナ ー	滋賀	御所内町子供会	-	-	6	0	8/20	すきなものビンゴ	3	くさつ未来プロジェクト
パートナ ー	滋賀	社会福祉協議会	-	-	50	22	7/2	すきなものビンゴ	17	くさつ未来プロジェクト
パートナ ー	滋賀	シャローム（フリースク ール）	-	-	9	0	9/17	すきなものビンゴ	4	くさつ未来プロジェクト
パートナ ー	愛媛	宇和島市立岩松小学 校	小学 校	4~6	21	0	8/20	すきなものビンゴ&お仕 事マップ	19	未来のわくわく研究所
パートナ ー	滋賀	甲賀市立佐山小学校	小学 校		20	0	12/1	すきなものビンゴ	4	くさつ未来プロジェクト
パートナ ー	滋賀	米原市立坂田小学校	小学 校		73	0	10/16	すきなものビンゴ&お仕 事マップ	7	くさつ未来プロジェクト
							10/17	すきなものビンゴ&お仕 事マップ	7	くさつ未来プロジェクト
パートナ ー	滋賀	米原市立山東小学校	小学 校	5・6	55	0	10/12	お仕事マップデモ・チーム 戦、わくわくエンジンシー ト	7	くさつ未来プロジェクト
事務局	オンライ ン	オンラインですきなものビ ンゴ	-	-	24	16	通年	すきなものビンゴ	24	
事務局	オンライ ン	わくわくエンジン活用倶 楽部	-	-	-	4	11/23	わくわくエンジン活用倶 楽部①	3	
							1/21	わくわくエンジン活用倶 楽部②	3	
							3/17	わくわくエンジン活用倶 楽部③	2	
合計					3,867	97			1,112	

②キャリアプログラムの普及啓発事業

◆内容：キャリアプログラムの普及啓発事業

◆日時：「2023 年度わくわくナビゲーター養成講座開催一覧表」P.13-14 参照

「2023 年度 講演/セミナー/研修実績」P.16 参照

「2023 年度『キーパーソン 21 の日！』開催一覧表」P.18 参照 他

◆場所：同上

◆従業者人数：のべ会員：152 名

◆対象者：1,456 名（子ども：578 名、大人：878 名）

◆収益金額：¥4,874,240 費用金額：¥7,245,054

1) わくわくナビゲーター養成講座および講師育成 <事業展開図 E プログラム開発/品質管理>

■23 年度のテーマ

わくわくエンジン®を日常生活に活かす

プログラムを通して、人間力の土台を作る。

■23 年度の目標

わくわくナビゲーターの学びと成長のために、オンライン上でコミュニティを作る。

ア. わくわくナビゲーター養成講座

■実績

1. わくわくナビゲーター養成講座の開催

- ・川崎など首都圏開催「すきなもののビンゴ&お仕事マップ®」9回
- ・地域開催「すきなもののビンゴ&お仕事マップ®」新潟県2回、兵庫県2回
- ・メイン講座（2級）を修了した人は、首都圏開催は7名、地域開催は20名

【2023年度わくわくナビゲーター養成講座（すきなもののビンゴ&お仕事マップ®）開催一覧表】

	開催日	講座内容		参加人数	開催場所
143 回	4 月 7 日	体験・引き出し	体験	1	神戸市長田区新長田合同庁舎
			引き出し	1	
144 回	4 月 26 日	体験・引き出し	体験	4	川崎市総合自治会館
			引き出し	4	
145 回	5 月 27 日	体験・引き出し	体験	7	江東区文化センター
			引き出し	6	
	5 月 28 日	メイン	メイン	1	江東区東大島文化センター
146 回	9 月 2 日	体験・引き出し	体験	6	黒崎市民会館
			引き出し	6	
	9 月 3 日	メイン	メイン	5	黒崎市民会館
147 回	9 月 13 日	体験・引出	体験	9	川崎市総合自治会館
			引き出し	9	
148 回	9 月 30 日	体験・引き出し	体験	5	かわさき市民活動センター

			引き出し	5	
	10月1日	メイン	メイン	3	かわさき市民活動センター
149回	12月3日	体験・引き出し	体験	6	神戸市長田区文化センター 別館ピフレ
			引き出し	6	
	12月4日	メイン	メイン	9	神戸市長田区文化センター 別館ピフレ
150回	1月27日	体験・引き出し	体験	4	江東区東大島文化センター
			引き出し	4	
	1月28日	メイン	メイン	3	かわさき市民活動センター
151回	2月17日	体験・引き出し	体験	9	新潟テルサ
			引き出し	9	
	2月18日	メイン	メイン	6	新潟テルサ
延べ参加数				128	
新規わくナビ ビンゴ&マップ			4級	1	累計 2
			3級	25	累計 88
			2級	27	累計 197
			1級	0	累計 0

2. オンラインわくナビゲーター育成コースの開催 3名が修了

■効果/考察

- ・わくナビゲーター（すきなもののビンゴ&お仕事マップ[®]）を継続的に養成
- ・地域チームでメイン・アシスタントを担当できる人が多数育成され地域活動の充実につながる

イ. わくナビゲーター講師育成

■実績

2023年6月に2名が講師認定され、主に会員向けわくナビ講座や企業研修を担当。

■効果/考察

- ・講師が増えたことで、講座開催の要望に対応しやすくなった。
- ・プログラムへの深い理解者が増え、普及のパワーとなった。

2) 全国への普及＜事業展開図 ③地域活性＞

■ 23 年度のテーマ

キーパーソン 21 に協働したいと思う団体が自立的に活動できるよう推進する。

■ 23 年度の目標

- ・事務局に集まる各地からの活動にまつわる知見を地域チームやパートナーと共有し持続可能な活動を促進させる。（情報のブラッシュアップ）
- ・地域で活動したい人がスムーズに開始できるための情報の整理をする
- ・地域教育システム導入事例を増やす
- ・わくわくエンジン®が地域活性につながる事例を発信する（広報と運動）

■ 活動報告サマリ

- ・各チーム、団体から寄せられたヒアリングをもとに再度提供資料のブラッシュアップを行った。
- ・複数年経過して見えてきた課題に対し、各種制度の見直しを行った。

■ 実績

【地域チーム】

1. 地域企業や関係団体の連携、協働プロジェクト等の活動紹介資料、営業資料をアップデート
2. キーパーソン21のことを伝える役割（エバンジェリスト）が全チームで1名以上誕生
3. プロジェクトマネージャー講座をブラッシュアップした内容で開催（25名参加）
4. 地域企業や地域市民をプログラムサポーターとして巻き込むプロジェクトを地域チームが企画、運営（チーム湘南:1件、チーム北関東:1件、チーム大阪兵庫:4件）
5. 宮崎県でチーム発足に向けて準備が整い、2024年度にチーム活動開始予定
6. ビジョン策定/ブランディングについての対話会を実施。チームのビジョンの言語化が進んだ。（3回開催、延べ26名参加）

【パートナー】

1. 2023年度新規パートナー「一般社団法人未来のわくわく研究所」（愛媛県宇和島市）とキーパーソン21の協働プロジェクトを実施。地域市民×地元高校生が地元小学生にプログラムを届けた。
2. 「認定NPO法人くさつ未来プロジェクト」で、ロケット教室と合わせて、キーパーソン21のプログラムを13プロジェクト実施。自分を知るプログラムからの体験活動の効果を実証。次年度も継続予定
3. 「社会福祉法人生活クラブ千葉」により千葉県立定時制高校に対し2年継続してプログラムを実施
4. これまでのパートナーシップ提携の効果を分析しパートナーシップ提携のシステムと料金を見直した。

■ 効果/考察

- ・資料の提供やプロジェクトマネージャー講座の開催により、関係各所とのプロジェクトの進め方、依頼者との打ち合わせが充実し、実施継続率が高まった。
- ・地域チーム同士の事例シェア会により、学校以外の寺子屋や塾、学童など活動対象が広がった。

3) 広報、コミュニケーション活動 <事業展開図 F 広報>

■23 年度のテーマ

Do Waku Waku, Be Key Person を合言葉にわくわくを伝播する。

■23 年度の目標

会員による全員広報を目指し、プロジェクトにかかわる情報をタイムリーに発信し合う。

■実績

1. 講演/セミナー/研修実績

【2023年度 講演/セミナー/研修実績】

年月日	タイトル	主催	参加人数 (人)
2023/4/16	自分を活かして いきいきと仕事をして生きる	フチガミ医療福祉専門学校	75
2023/4/26	わくわくする自分から 始まる起業	専大ベンチャービジネスプログラム (専修大学キャリア形成支援課)	40
2023/5/19	わくわくする自分から 始まる未来	浩志会意見交流会	9
2023/6/1	子どもの意欲・主体性を引き出す対話力 対話力向上研修～わくわくエンジン®発見～	新潟市教育委員会 対話力向上研修	10
2023/7/4	わくわくする自分からはじまる 川崎未来まちづくりプロジェクト 2023	川崎市立宮内中学校 富士通 KP21	79
2023/6/21	対話力向上研修～キャリアパスポート活用～	新潟市教育委員会 対話力向上研修	9
2023/8/31	対話力向上研修～対話のポイントを実践的に学ぶ～	新潟市教育委員会 対話力向上研修	33
2023/09/30	～子どもの可能性を最大限に～ 子どものやる気とわくわくエンジン®の見つけ方	中原区 PTA 協議会	47
2023/10/2	～自分の好きに正直に生きる～ わくわくする自分から始まる未来	飛鳥未来きずな高等学校池袋キャンパス 始業式	500
2023/10/16	すべての人がキーパーソン ～子どもたちのわくわくを見つけるのはあなた～	一般社団法人尾道青年会議所 10 月例会	100
2023/10/30	受け継ぎたくなる NPO とはなにか	NPO サポートセンター NPO 事業承継サミット	100
2023/11/8	～子どもの可能性を最大限に～ 子どものやる気とわくわくエンジン®の見つけ方	横浜市立太尾小学校成人研修	24
2023/11/25	～子どもの可能性にアクセスする～ 未来につながる『進路選択』とは	埼玉県立浦和北高校 PTA 進路委員会	30
2023/12/2	子どものやる気エンジンのかけ方 学びませんか	藤井寺市立藤井寺西小 PTA	7
2023/12/8	キャリア教育ってなんだ？ ～子どもが主役のキャリア教育～	千葉県白井市教育委員会	20
		合計	1083

2. プレスリリース：9 本配信（事務局 6 本 地域チーム 3 本）

【2023 年度 プレスリリース実績】

日時	担当	タイトル
2023/5/15	チーム 大阪兵庫	地域の企業が公立小学校でキャリア教育 対話的深い学びを通して子どもたちの将来に広い視野を 大津市立富士見小学校×株式会社高栄ホーム
2023/6/26	事務局	富士通株式会社と協働 わくわくする自分からはじまる川崎未来まちづくりプロジェクト 2023
2023/7/20	事務局	夏休みこそ親子で「対話」を。キャリア教育 NPO のキーパーソン 21、家族向けオンラインプログラムを 8/5～ 8/20 で開催
2023/9/20	事務局	カシオ計算機と協働「シブヤ未来科」(※)の一環としてキャリア教育プロジェクトを実施～渋谷区立渋谷本町 学園にて～
2023/9/21	事務局	JFE エンジニアリング(株)と協働キャリア教育授業で次世代育成に取組む ～川崎市立川崎中学校にて～
2024/1/10	チーム湘南	～横浜市初の画期的なコミュニティ・スクールの取り組み～ 地域住民と NPO が協働で、キャリア教育授業を横浜市立笹下中学校で開催
2024/2/22	事務局	川崎市立中原中学校にて多様な大人と共に 1 日楽しむ 「わくわくエンジン®発見プログラム」を実施 サントリーグループ社員×地域の皆さま×キーパーソン 21 の協働プロジェクト
2024/3/25	チーム 大阪兵庫	4/12（金）関西大倉中学校と協働でオリジナルのキャリア教育授業を実施
2024/3/29	事務局	株式会社 MCJ 様より寄付をいただきました～ SDGs 目標「4.質の高い教育をみんなに」に対する取り組みと して～

3. メディア掲載

【2023 年度 メディア掲載実績】

媒 体	掲載タイトル	特記事項
リクルート進学総研 『2023 年度 高校生の保護者のための キャリアガイダンス』	「親子で取り組むわくわくエンジン®発見ワーク」	全国の高校約 40 万部配布。 Solo-solo への問い合わせや、学校から講演依 頼等の反響あり。4 ページ
雑誌 『社会教育』 (日本青年館 2024 年 3 月号)	「2023 年度の社会教育・生涯学習の総括と 2024 年度への展望」	社会教育の実践者として朝山が座談会に参加。 24 ページに及ぶ。3 月度キーパーソン 21 の 日！において清原慶子先生、近藤編集長との鼎 談を実施
『coki』 法人サステナビリティ情報紹介 WEB メディア	「子どもが幸せに生きるために大人と教育機関 がすべきこと - 明豊中学校×キーパーソン 21 協働プロジェクト」	2021～22 年度の明豊中での取り組みについて 森田絹枝さん、Y 先生対談
	「キーパーソン 21 のプログラムは大人にとっ ても刺激的」	川崎市立新城小学校でのプログラム実施協賛 企業であるジェクト株式会社代表取締役市川功 一さん、米倉さん

4. 内部広報/その他

- ・「川崎プロボノ部」の協力を経て寄付・マンスリーサポーターについての web 告知、チラシをアップデート
- ・会員報『WAKU の内弁当』 第 13 号（12/10 発行）ジュニアわくナビ紹介、地域チーム紹介等
- ・会員向けの活動理解促進、交流の機会として「キーパーソン 21 の日！」を展開

【2023 年度「キーパーソン 21 の日！」開催一覧表】

月度	内容
4月	スターターキット&活動について 昼休み開催12:00~13:00
5月	ジュニアわくわくナビゲーターがやって来る! ヤア! ヤア! ヤア! ~キーパーソン21から誕生した、ジュニアわくわくの物語~
7月	リベラルアーツとは? わくわくエンジン®の発動にどう活かすのか?
8月	みんなでわくわくアイデア会議!!
9月	あつまれ、わくわくの森 つながろう、学びあおう、はじめての一步
10月	わくわくエンジン誕生秘話とこれから
11月	賛同者やボランティアの集め方
12月	第1回新入会員歓迎会「会員みんなと知り合おう! 話そう!」&忘年会
1月	チーム大阪兵庫のお仕事マップ!
2月	キャリア教育・文部科学大臣表彰! 富士通×宮内中PJ
3月	『社会教育』発行記念 清原慶子氏×近藤真司氏× 朝山さん対談

■効果/考察

- ・講演依頼では、入学式や始業式など、進路やキャリアを考え始めるスタート時に「わくわくエンジン®」から始まることの重要性が理解されるようになった。
- ・教育委員会からの研修依頼では、教育現場の教員がキャリア教育に対して、戸惑い悩んでいるという課題が浮き彫りとなった。
- ・「キーパーソン21の日!」において、地域チームやジュニアわくわくナビ等、多様な会員たちの活躍、想いや声、事例を伝えることで、活動がより活発化した。

③社会参加支援事業

◆内容：学習支援、居場所づくり、及び寺子屋事業

◆日時：通年

◆場所：中原区 2 箇所（なかわく）

中原区 1 箇所（こすわく）

中原区 1 箇所 今井小学校（寺子屋今井）

◆従業者数：のべ 2,119 名

[1,873 名（なかわく）、87 名（こすわく）、159 名（寺子屋）]

◆対象者（子ども）：のべ 3,311 名

[2,238 名（なかわく）、168 名（こすわく）、905 名（寺子屋）]

◆収益金額：¥ 19,246,213 費用金額：¥ 24,126,352

1) 川崎市学習支援・居場所づくり事業＜事業展開図 B パーソナル/居場所づくり＞

■23 年度のテーマ

生活環境や多様な生きづらさを抱える子どもたちを大切な私たちの「地域の子」として、行政や学校、児童相談所、地域の NPO などの関係各所と連携しながら、一人ひとりの変化変容と成長を中長期的にサポートする。

■23 年度の目標

不登校の児童生徒が増えている現実、一人ひとりの子どもに寄り添い、未来の自分に希望を感じ自分らしい進路選択のサポートを続けられるように、2022 年度より昼間の時間帯に開室し始めたこすわくを継続できるように寄付金の募集をする。

ア. 川崎市委託事業「学習支援・居場所づくり事業」

【中原わくわく学習会】（通称 なかわく）

■活動報告サマリ

- ・通常教室での学習の他に、希望者へは固定サポーターによるマンツーマンのzoom学習を行った。
- ・年間で11回の学びのキャリア教育を行った。

■実績

- ・中3生（計8名）を対象に面接対策として「わくわくエンジン®」発見プログラムを実施
- ・中3生（サンライヴ教室5名、新城教室9名）全員が高校合格

中原“わくわく”学習会 — 新城教室 —

中原“わくわく”学習会 (通称:なかわく) 新城教室	【開室期間】 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日 【実施場所】 新城いこいの家（新城地区） 【実施時間】 中学生：18 時 30 分から 20 時 30 分（1 回あたり 2 時間） 小学生：17 時 00 分から 18 時 00 分（1 回あたり 1 時間） 【開催日数】 中学生：88 日（水・金）、小学生：44 日（金） Zoom 学習を年間 372 回実施（1 回あたり 2 時間）	リモートによる自宅学習（Zoom 学習）を 通年で実施 新城とサン・ライヴの Zoom 学習合計；656 回
支援体制（期末）	事業統括責任者：1 名、学習コーディネーター：3 名、学習支援専門員：1 名 学習サポーター：23 名（学生：14 名、社会人：9 名、スタッフ含む）	
登録生徒の状況	<中学生> 24 名（3 年：9 名 2 年：10 名 1 年：5 名） <小学生> 17 名（6 年：5 名 5 年：5 名 4 年：4 名 3 年：3 名）	総合計：41 名 (2024.3 末現在)
進学先	公立全日制：6 名、私立全日制：2 名、公立定時制：1 名	

中原“わくわく”学習会 — 小杉教室（サン・ライヴ） —

中原“わくわく”学習会 (通称:なかわく) 小杉教室 (サン・ライヴ)	【開室期間】 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日 【実施場所】 サン・ライヴ（小杉地区） 【実施時間】 中学生：18 時 30 分から 20 時 30 分（1 回あたり 2 時間） 小学生：17 時 00 分から 18 時 00 分（1 回あたり 1 時間） 【開催日数】 中学生：88 日（水・金）、小学生：44 日（金） Zoom 学習を年間 284 回実施（1 回あたり 2 時間）	リモートによる自宅学習（Zoom 学習）を 通年で実施 新城とサン・ライヴの Zoom 学習合計；656 回
支援体制（期末）	事業統括責任者：1 名、学習コーディネーター：3 名、学習支援専門員：1 名 学習サポーター：22 名（学生：14 名、社会人：8 名、スタッフ含む）	サン・ライヴと新城で連携し サポート（2024.3 末現在）
登録生徒の状況	<中学生> 17 名（3 年：5 名 2 年：6 名 1 年：6 名） <小学生> 7 名（6 年：5 名 5 年：1 名 4 年：1 名 3 年：0 名）	総合計：24 名 (2024.3 末現在)
進学先	公立全日制：1 名、私立全日制：3 名、公立定時制：1 名	

■効果/考察

- ・子どもたちから寄せられるサポーターへの信頼度は厚く、勉強することを目的として来室している子どもと居場所として来室している子どもとが2極化して存在している。
- ・マンツーマンに近い状況で個別対応しているため、学校に足が向かない子どもたちにとっても安心の居場所になっている
- ・リアル対面学習とオンライン学習の併用により、機会の増加に伴い学力が向上している
- ・勉強を目的として来室する子どもたちの中には、イベントの日は学習ではないとの考えから欠席させる家庭もあるため、内容の検討や、保護者の理解促進をはかりたい。

イ. 自主運営事業「学習支援・居場所づくり事業」

【小杉わくわく学習会】（通称こすわく）

■活動報告サマリ

- ・不登校生対象の時間と、通常学習生対象の時間を分けて開室

■実績

- ・不登校生は中3生男子が学校に戻り、高校合格を無事に果たす
- ・通常学習生からは、一般受験を経て大学へ1名、専門学校へ1名、それぞれ第一志望の学校へ合格
中3生2名も第一志望の高校へ合格を果たす

実施内容 実施スケジュール	学習教育：週1回 不得意科目克服、学校での成績アップ ・開講 18:30～20:30 年間46回 不登校者対応教室：不登校のこどもの事情に合わせ面談及び Zoom によるマンツーマン教育を実施 ・年間98回 うち参加35回		
参加者の年代	小6～中3及び 高校生	定員 (1回あたり)	通常学習5人 不登校対応1人
実施頻度	学習教室：週1回 不登校対応学習： 2～12回/月	活動日数 (年間)	学習教室：46日 不登校学習：98回
スタッフ体制	学習：専任講師1名 不登校：専任講師1名		

■効果/考察

- ・どの子も落ち着いて学習に取り組んでいる
- ・学校に足が向かない子どもには、ほぼマンツーマンでの対応を継続している

2) 川崎市寺子屋事業 <事業展開図 B パーソナル/居場所づくり>

■23年度のテーマ 子どもたちの「やってみたい」を応援する
■23年度の目標 ・学習教室では、子どもたちそれぞれのわくわくエンジン®を発動させた活動をサポートする ・体験活動では、「〇〇をやってみよう子集まれ！」として、主体的に行動するという意識づけを図る

■実績

学習 教室	全30回 参加者延人数 ・児童：710名	・活動開始初回で「今年の寺子屋でやってみたいこと」を考えてもらい、年間を通じてそれを実現できるようサポートした ・それぞれの宿題を済ませたあとは、行事に合わせた工作や、科学的実験的な工作、編み物などの手芸、また、こままわし競争や風揚げなどのお楽しみ時間を設け、子どもたちが自由に自分のやりたい活動に参加した
体験 活動	全6回 参加者延人数 ・児童：133名	・6/3「パタパタ飛行機をつくって飛ばしてみよう子あつまれ！」 親子で協力しながらパタパタ飛行機を作り、苦労して完成した飛行機をみんなで飛ばして、体育館がパタパタ飛行機でいっぱいになり壮観であった

・中学生：29 名 ・大人：290 名 ・未就学児：33 名 合計：485 名	・6/10、6/17 「朗読劇『グレイッシュとモモ』をやってみたい子あつまれ！」 コロナ禍で大きな声を思い切り出す機会を制限されていた子どもや大人たちに、舞台上に上がって大きな声でせりふを言う体験をもらった。また、講師を務めていただいた方は目が不自由で、白杖を使っており、白杖を使っている人に会ったときのお手伝いの方法についても学んだ。
	・11/25、12/2 「こどものまちであそんでみたい子あつまれ！」 子どもだけで「こどものまち」を企画運営した。こどものまちの中で自分の担いたい役割を決めて、自分でやり方を考えて実行。達成感を感じていた子が多くみられた。
	・3/23 「演劇『グレイッシュとモモ』—いつもの体育館がみんなの劇場になる日—を観たい子あつまれ！」 事前にダンス練習を行って劇の中のダンスシーンに登場する「ジジキッズ」が劇を大いに盛り上げた。赤ちゃんからお年寄りまで、障害の有るなしに関わらず、みんなで生の演劇を楽しむ空間はとても暖かく居心地の良いものとなった。

■効果/考察

【学習教室】

- ・年初に登録した子はほとんど最後まで通い続けた。
- ・口コミによる年度途中からの追加登録者も多かった。
- ・年度末の振り返りでも満足度が高く、子どもたちにとって放課後の大切な居場所になっていることがわかった。

【体験活動】

- ・自分が興味を持ったプログラムに主体的に参加する子が多く、自ら進んで活動することで達成感を得られ、日常生活においても自分のやりたいことを積極的に実行する、ということにつながっている様子が見られた。

④人材育成を目的とした企業、団体等への助言、研修事業

<事業展開図D企業研修>

◆収益金額：¥71,097 費用金額：¥49,374

■23 年度のテーマ

人的資本経営の一環として、キーパーソン 21 の活動に共感する企業を増やす。

■23 年度の目標

企業向けのアプローチスキームの確立および、提案資料を作成する。

人材育成/越境学習の研修にキーパーソン 21 のプログラムを採用する企業を創出する。

■実績

1. チーム大阪兵庫が協働している高栄ホーム株式会社では新入社員対象の研修を行った。
2. JA 全農では新入社員も加わり、酪農の次世代を担う子どもたちにプログラムを届けた。
3. サントリーホールディングス株式会社の社会貢献活動の対象として、また志を同じくして共に進む仲間として意見交換や情報提供を行った。

■効果/考察

- ・子どもにとっては、新入社員との対話は身近な存在に感じることができ、企業にとっても、新人の仕事へのモチベーション向上、社員同士の交流となり、新人研修モデルとして展開の可能性を見い出すことができた。
- ・企業が社会課題に向き合うにあたり、これまでとは異なる、NPO との新しい協働の潮流を感じている。

⑤教育に関わる情報収集、調査研究及び発信事業 <事業展開図 G 戦略>

◆収益金額：¥0 費用金額：¥3,294

(支出費用は川崎市市制 100 周年記念事業へ提案申請費用のみ)

■23 年度のテーマ

わくわくエンジン®のコモンズ化を目指し、社会的な視野で取り組みや協働できる仲間の可能性の探究

■23 年度の目標

- ・調査研究活動に必要な予算やリソースを踏まえた実現可能性を検討する。
- ・社会的影響力のある人や組織とのつながりを創る
- ・コモンズ化や、社会への共感を意識した情報を整理し発信する

■実績

1. 川崎市立宮内中学校が「第16回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞
2. 経済産業省「キャリア教育連携表彰」に有明わくわくプロジェクト（7年目）でエントリー
3. 「エッセンシャルマネージメントスクールソーシャルビジネス実践コース」を事務局・理事から 6 名が奨学生として受講（サイボウズ青野 慶久氏による寄付講座）
4. 「will-being®（ウィルビーイング）」（個々人から醸成される will = 意志が社会で満たされた状態）という考え方を事業方向性検討のなかで言語化し商標登録
5. 川崎市市制 100 周年記念事業へ提案申請

■効果/考察

- ・表彰へのエントリー、マネジメントの学びを通して、ソーシャルセクターで活動する他団体との交流が生まれた。
- ・「will-being®」や「やってみたいをやってみる」など社会的な文脈での活動価値を言語化した。

⑤その他目的達成のために必要な事業

◆収益金額：¥36,366 費用金額：¥10,998

(収入は会員活動参加費、支出の費用は PayPal の手数料)

1) 会員力最大化 <事業展開図 K 会員力最大化>

■23 年度のテーマ

会員こそが普及の震源地。

自分もわくわく、相手もわくわくさせながら、共感と感動の共鳴を広げよう。

■23 年度の目標

- ・「自分もわくわく、相手もわくわく」をモットーに活動する。
- ・会員同士の交流を深めながら、これまで以上に愛あるコミュニティに進化させる。
- ・地域で一人ぼっちと感じる会員をなくす。仲間の存在を感じてもらえるような場をつくっていく。
- ・キーパーソン 21 に共感くださる様々なステークホルダーと感動を共有し、思いを実現していくことのできるコミュニティとしての場をつくっていく。

■実績

重点施策と同じ（P.1）

■効果/考察

重点施策と同じ（P.2）

（２）営利活動に係るその他の事業**①寄贈品、グッズなどの物品販売**

特に活動計画なし

②著作、出版物の制作・販売

特に活動計画なし

③会員のサークル活動支援事業

特に活動計画なし

【管理部門】

1) 財政基盤を構築する <事業展開図 J 財務>

■ 23 年度のテーマ

マンスリーサポーター制度の認知度向上

■ 23 年度の目標

マンスリーサポーター新規 20 名

■ 活動報告サマリ

・各種助成金申請とマンスリーサポーターの広報・促進を行った。

■ 実績

1. 川崎プロボノ部の協力により、マンスリーサポーター募集ページとチラシを更新
2. 住友生命主催の第17回「未来を強くする子育てプロジェクト」で「スミセイ未来賞」を受賞し50万円の副賞を受け取った
3. 株式会社MCJより、多額の寄付を受け取った

■ 効果/考察

・認定NPOの維持やグッドガバナンス認証更新など組織基盤を整えた努力により、寄付をいただけるような信頼性があがった

2) 組織改革・基盤強化 <事業展開図 G・H・I 総務/人事/経理>

■ 23 年度のテーマ

理事/事務局/その他スタッフも明るく楽しくわくわくと働ける組織をめざす。

■ 23 年度の目標

感謝と応援のコミュニケーションを増やし、一人ひとりがやりがいを実感する。

■ 実績

1. NPO認定と川崎市の指定NPOとしての有効期間更新（令和10年5月まで）が承認された
2. 総務：購入及び予算費消の権限やルールを制定を行った。24年度より適用する。
3. 人事：サントリーホールディングス株式会社より企業出向者1名受け入れ、事務局新規1名採用準備を行い24年度の体制を整えた
4. 経理：年間の収入計画を月度単位で予算と実績を比較

■ 効果/考察

- ・予算承認のルール化
- ・24年度事務局体制の拡充
- ・予算計画と実績の比較活動により予算精度をあげた

3) 戦略を立案する <事業展開図G戦略>

■23 年度のテーマ

24 年～26 年の中期経営計画を立案する。

■23 年度の目標

・キーパーソン 21 の中期経営計画を立案する。

■実績

1. 中期計画を作成するために、事業領域、シーン（家庭/学校/地域施設等）、地域等に分けて検討
2. キーパーソン21のミッション、ビジョン、バリュー、パーパスに関して検討
3. 主要な活動の骨子をまとめ定款の見直しを行った
4. 23年度の計画に基づく活動実績のモニタリングを毎月行った。

■効果/考察

・組織構造の見直しにより、定款変更準備ができ、2024年度以降の活動の管理及び、経理上の勘定科の管理や事業単位の収支の管理がしやすくなる見込み。

※「わくわくエンジン」、「すきなものビンゴ&お仕事マップ」、「will-being」は、特定非営利活動法人キーパーソン 21 の登録商標です。